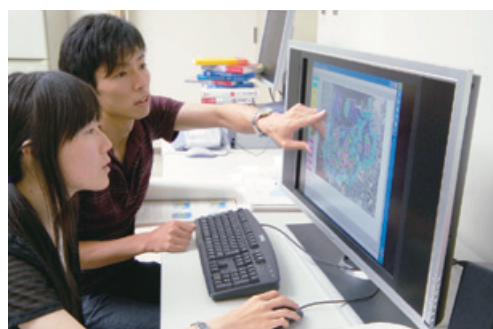


創造工学部・工学部

環境・建築、情報・電子技術、ロボット技術、
新材料開発の工学教育。

工学部は、1997年10月1日に、新しい切り口の教育研究に関する方法・体制をもつ国立大学工学部として、技術者養成に対する最も新しい理念を掲げて創立し、一昨年21年目をもち、学生募集を停止しました。昨年度からは創造工学部を新設しましたが2021年3月までは旧工学部のカリキュラムの学生が就職対象となります。工学部の授業科目は各学科の専門科目に加え、多角的思考能力（環境・経済産業政策や工学倫理）、コミュニケーション能力（口頭発表や技術文書作成、ディスカッションの基本、国際コミュニケーション、技術英語）、数理的基礎能力（数学やプログラミング基礎）の科目群で構成されています。さらに産学連携研究や国内・国際インターンシップも教育プログラムに含まれており、幅広い教養と経験を身に付けた学生を輩出しています。



安全システム建設工学科

社会基盤や自然基盤、住環境の整備に必要な基礎的内容を教育しています。専門基礎知識として、構造力学、地盤工学、建設材料学、住環境学、環境生態学、測量学などの講義と、実験・演習や建築設計製図を行い、建設技術者としての基礎的な素養を身につけた人材を養成しています。指定科目を履修し卒業すれば、一級建築士、二級建築士、木造建築士の受験資格が得られます。

電子・情報工学科

情報工学系、電子通信工学系の学科です。信頼性工学の教育をとりいれ、安全で安心な情報通信システムの構築に関する技術を修得した人材を養成しています。卒業生は、「情報環境コース」と「電子情報通信コース」の学生に分かれていますので、採用される際には各コースの修得内容をご確認下さい。（参照：<http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/rise/kigyou.html>）

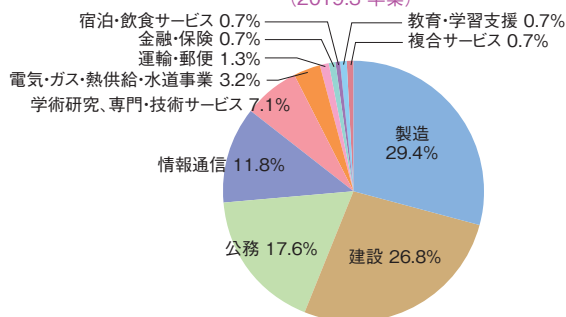
知能機械システム工学科

人と人工物が共生する新しい知能機械システムの構築を目指し、人間支援工学を中心に、機械・電子・制御技術を融合した教育研究を行っています。機械工学の基礎として力学、解析学、加工学、設計・製図の力を、知能工学の基礎として計測学や制御工学の力を養っています。さらに画像処理やロボティクス、ナノテクノロジーなど各分野の技術研究により、総合的な知識技術を持った人材を養成しています。

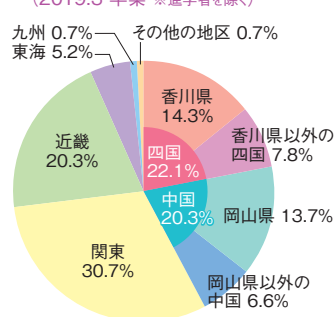
材料創造工学科

豊かで持続可能な社会の実現に貢献する新材料を創出するという視点から、「環境材料化学」「機械材料科学」「光・電子材料科学」の3分野の実践的な教育を行います。専門基礎知識として、無機化学、有機化学、電磁気学、力学、材料力学、熱力学、材料組織学、量子力学、固体物理学を、さらに専門科目を講義したうえで、実験・演習を行い、自然科学を基礎とした視野の広い技術者を養成しています。

業種別就職状況
(2019.3 卒業)



地域別就職状況
(2019.3 卒業 ※進学者を除く)



出身都道府県別
卒業見込者数(2021.3)

岡山	86
香川	64
兵庫	24
愛媛	16
大阪	16
広島	14
島根	7
徳島	6
京都	6
高知	6
福岡	5
その他	38
計	288 (人)

主な就職先

安藤・間、アオイ電子、STNet、NTN、鹿島建設、クラレ、五洋建設、JFEプラントエンジ、四国電力、四国旅客鉄道、東洋建設、西日本高速道路、マキタ、三浦工業、三井住友建設、四電工、両備システムズ、愛媛県庁、岡山市役所、香川県庁、近畿地方整備局、倉敷市役所、四国地方整備局、高松市役所、広島市役所 など